

先端科学技術研究調査センター

Research Center for Advanced Science and Technology

産業界、社会との懸け橋

先端科学技術研究調査センターは、
(1)知的財産、技術経営、技術ベンチャー教育、
(2)先端科学技術分野における研究・調査、
(3)大学発ベンチャー、インキュベーションの促進
に向けたさまざまな活動を行っています。



1 知的財産、技術経営、技術ベンチャー教育



「学生ニュービジネス大賞2008」『大賞』受賞

開かれた大学教育の一環として、学生に限らず社会人等をも対象とした知的財産、技術経営、技術ベンチャー教育に力を入れています。

知的財産権の潮流、制度、条約、ライセンス契約等を学ぶ講義「知的財産権」、知的財産の事業化の諸課題(マネジメント、

マーケティング、ファイナンス等)を学ぶ「技術経営」、事業計画書の作成を通じて、科学技術の事業化、ベンチャー起業について演習形式で学ぶ「技術ベンチャー論」、また、インターネット

トを活用して社会人を対象とした遠隔講義(「技術移転人材プログラム」等)等、最先端の科学技術をいかに経済的価値につなげていくのかについて、さまざまな教育プログラムを開発・提供しています。

社会で活躍できる幅広い視野と知識、さらに、さまざまな困難に立ち向かうことのできる起業家精神を養い、問題解決型の人材育成を支援しています。

2 先端科学技術分野における研究・調査

先端科学技術研究・政策動向、先端科学技術の事業化、研究開発型ベンチャー創出、知的財産・技術経営、特許動向等、内外の研究機関や専門家との連携により、さまざまな研究調査を行い、これら研究成果を、報告書や著書、刊行物などで、幅広く産業界、社会に公表しています。

また、平成19年度に採択された「次世代IT基盤構築のための研究開発事業」において、産学官連携体制の下、研究開発調査に注力すると共に、平成18年度から引き続き「国際的技術移転(OJT)人材養成事業」で、国際的な技術移転、技術経営面の研究調査に取り組んでいます。

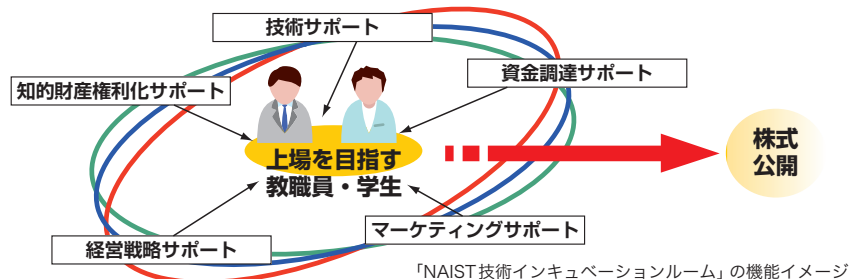
	賞名	受賞
20年度	キャンパスベンチャーグランプリ大阪(日刊工業新聞社等主催)	優秀賞(情報通信部門)奨励賞
	学生ニュービジネス大賞2008(社団法人 関西ニュービジネス協会主催)	大賞

3 大学発ベンチャー、インキュベーションの促進

● NAIST 技術インキュベーションルーム

先端科学技術をベースとして上場を目指す研究開発型ベンチャーに特化したインキュベーション施設として整備しました。

NAIST 技術インキュベーションルームにおいては、研究・事務スペースの貸与というハード面での支援に加え、大学発ベンチャーの経営戦略、マーケティング、知的財産管理、資金調達、技術に関する助言等ソフト面でも充実した支援を行っています。



● ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー

ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーは、本学の情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学やそれらの融合分野の推進に向け、創造的なアイデアを集結したベンチャー精神に溢れる教員・学生のため

の専門施設として設置しました。

基盤的技術分野での独創的研究開発を推進し、高度な専門的職業能力を持つ創造的人材を育成することを目的としています。